

原料費調整制度に基づく2020年1月検針分ガス料金について

当社は、原料費調整制度に基づき2020年1月検針分の原料費調整単価を27.1円/m³(税別)とさせていただきます。
(前月比+9.9円/m³(税別)調整させていただきます。)

これにより2020年1月の平均的なガス使用量(10m³/月)では2019年12月検針分のガス料金に比べて99円(税別)の値上げとなります。

●原料費調整内容(基準料金表)

基本料金	従量料金		原料費調整単価
1,650円(税別)	0m ³ から5m ³ まで	490円/m ³ (税別)	-27.1円/m ³ (税別)
	5m ³ をこえて20m ³ まで	440円/m ³ (税別)	
	20m ³ をこえて30m ³ まで	420円/m ³ (税別)	
	30m ³ をこえて40m ³ まで	380円/m ³ (税別)	
	40m ³ をこえる場合	340円/m ³ (税別)	

※アパート等賃貸住宅にて弊社負担の消費設備等をお客様に貸与している場合またはメンテナンス契約対象の消費設備をご利用いただいている場合、基本料金とは別に「設備使用料」850円(税別)計上させていただきます。

●平均的なガス使用量

月間ガス使用量	2019年12月ガス料金(税込) <A>	2020年1月ガス料金(税込) 	前月比
10.0m ³	6,523円(税込)	6,632円(税込)	+109円(税込)

*10月検針分は8%の税率、11月検針分からは10%の税率となります。

●原料価格など指標の推移

	9月	10月	11月
中東LPG指標:CP(ドル/トン)	350	420	430
北米LPG指標:MB(ドル/トン)	234	240	
為替レート:TTS(円/ドル)	108.45	109.15	
フレート(船賃):RIM(ドル/トン)	51.8	61.7	

●計算方法

基準原料価格 66,000円/トン

FOB価格 中東合成 CP 425.0×70% + 北米 MB 307.0^{ドル}×30% = 389.60^{ドル}
 中東合成 CP (10月 CP420^{ドル} + 11月 CP430^{ドル}) ÷ 2 = 425.0^{ドル}
 北米 MB 10月 MB240^{ドル} + 67^{ドル}(ターミナルフィー) = 307.0^{ドル}

フレート価格 (中東フレート 61.7^{ドル}×70% + 北米フレート 111.72^{ドル}×30%) + 2^{ドル} = → 78.71^{ドル}
 中東フレート (RIMフレート) 61.7^{ドル}
 北米フレート (RIMフレート) 61.7×1.6倍+13^{ドル}(パナマ運河通行料) = 111.72^{ドル}

円換算 10月1日～末日 TTS 平均 109.15円/ドル

LPG輸入価格 (FOB価格 389.60+フレート価格 78.71) × 109.15円 = 51,1160.0365 → 51,100円/トン

当月原料価格 51,100円/トン + 石油石炭税 1,860円/トン = 52,960円/トン

原料費調整単価 (当月原料価格 52,960円 - 基準原料価格 66,000円) ÷ 1,000 ÷ 0.482 = ▲27.0539...

2020年1月ガス料金の原料費調整単価は1m³あたり▲27.1円(税別)です。(前月比+9.9円/m³)